

サンマ自遊調査並に沿岸一本釣漁場調査

一 経 過 概 要

1. 調査期間 自1960年1月21日 至1月25日
2. 調査船 かもめ丸 (23.5t, 15t)
3. 調査海域 喜屋武岬より港川沿岸 (別紙参照)

操 業 状 況

月 日	乗組開始時間	操業終了時間	所要時間	潮流方向	投網(釣)位置	漁 獲 高
1月21日	-	-	-	-	-	
1月22日	0時 - 30分	18時 - 20分	0時間0分	0E	港川沿岸	ナ シ
1月23日	0時 - 20分	17時 - 35分	0時間15分	0E	*	赤ハタ 1, カワハギ 2
1月24日	10時 - 15分	18時 - 25分	0時間10分	0E	マヅニ崎	ハタ 2, カワハギ 2
1月24日	18時 - 40分	22時 - 30分	3時間30分	0E	喜屋武岬	ナ シ

1月21日

18時15分泊出港臨時漁夫雇入のため港川向け航行途中表面水温の測定を実施し、同日午後3時30分港川着、同時に臨時漁夫雇入打合せのため港川水産組合立寄る。午後5時30分臨時漁夫2人雇入、港川沿岸における一本釣の試験を実施したところ同漁場における喰付き状態は非常に悪く午後10時20分操業打ち切り港川入口にて仮泊

1月22日

沖繩近海海上注意報発表され風皮強くサンマの調査は困難と思われたので前日同様港川沿岸における一本釣の調査を実施したが喰付き悪く、午後5時40分操業打ち切り港川にて仮泊。

1月23日

前日同様海上注意報発表中のためサンマの調査できず知念崎沿岸において一本釣の調査を実施したが同位置も喰付き状態が悪く赤ハタ 1, カワハギ 2の漁獲だけであった。

1月24日

サンマ調査のため喜屋武岬向け港川出港、漁場到着と同時に $\frac{8}{8}$ の方向に投網開始、19時10分投網終了、20時30分より操業開始、約40分間操業後喜屋武岬中台で漂流、翌日午前7時30分泊港向け航行、帰路に着いた。

海 況 及 気 象 観 測 表

日 日	位 置	時刻	天候	気温	湿度	風力	風向	波況	雲20	水温	備 考
1月21日	糸満沖合	14	B.C	22.2	4	2	NE	2	1	21.5	
"	喜屋武岬	15	B.C	22.2	4	1	NE	2	1	21.5	
1月22日	港川沖	10	0	19.6	8	3	E	3	3	21.2	
"	"	12	0	19.7	8	4	E	3	3	21.2	
"	"	16	0	19.6	8	4	E	3	3	21.2	